

ひとりでマンション買つ女性 増えてる?*

自分の城築き生きと

自分主義のマンションを持つ女性が増えている。都市部ではシングル女性向けのコンパクトな分譲マンションが新築され、中古物件をリノベーションして“自分の城”を築く女性も。マンションを買う女性の生き方を描いた漫画「プリンセスメゾン」(池辺奏・作)も話題だ。さて、その背景は。

(加納裕子)

†漫画も話題に

「家を買うことが、今の自分にとってベストなら、決意する。でも、それで自分の人生が決まるわけではない。買った後、どう生きるかが大事なのです」

女性向け住宅コンサルティング会社「オフィスウェール」(大阪府枚方市)代表の春田美砂子さん(50)は今年6月、兵庫県宝塚市で開かれた講座で、こう強調した。人気漫画「プリン

セスメゾン」について解説しながら、女性の生き方を掘り下げる。

「プリンセスメゾン」の主人公、沼越さん(26)は居酒屋チェーン勤務、年収260万円。子供の時に両親を亡くして親類の家に引き取られた経験を持ち、アパートで一人暮らしをしながら自分のマンション購入という夢に向けて邁進する。「いつ来るか分からぬ日を待つよりは、今のベストをつかみたい」というセリフが印象的だ。

平成26年8月に小学館の無料ウェブ漫画サイト「やわらかスピリッツ」で連載がスタート。昨年10月にはNHK BSプレミアムドラマになり、人気俳優、高橋一生さんが出演した。担当編集者は「生きることの孤独を肯定し、

自由を与えてくれるような女性の描き方が、読者に癒やしと勇気を与えていれる」と説明する。

「一昔前は、女性は家庭を持つて子供を産んで幸せ、と思われてきましたが、今はシングルやシングルマザー、再婚などいろんな形のファミリーがあります。古い価値観に惑わされないで」と春田さんはいう。

春田さんによると、今は年収が同じなら、家族持ちの男性よりもシングル女性の方が住宅ローンも通りやすい。可処分所得がシングル女性の方が高いからだ。

さらに、都心部では1LDKなど単身女性向けの新築物件が出始めている。もちろん中古マンションも選択肢の一つだ。シングルマザーで契約社員の女性(51)は、大阪・ミナミの築28年のマンション(830万円)を自己資金300万円で手に入れた。子供たちが独立し、今後の生き方を決めるきっかけにもなった。バルコニーから見える夕日で仕事の疲れが癒やされ、「ローンを返すために働く」と張り切っている。

†「資産になる」

「家を買うと女性は生き生きと輝く。出世したり、結婚したりする方も少なくない」と話すのは、女性のマンション購入を支援する一般社団法人「女性のための快適住まいづくり研究会」代表の小島ひろ美さん(59)だ。平成3年から女性向けのマンション購入講座を続け、同会のサポートを受けた女性が毎年800人以上、マンションを購入している。

小島さんによると、住宅ローン金利がかつてないほど低く、今年、同会が支援するマンション購入者は、過去最高の1千~1200人になる見込みという。小島さんは「かつては30、40代のキャリアウーマンばかりでしたが、今は20~70代、派遣社員やパートの方まで層が広がっています」と話している。



講座で女性たちにマンション購入のポイントを説明する小島ひろ美
代表

20~70代 派遣社員やパートまで

マンション購入までの6ステップ

①資金計画を立てる

- 貯蓄額を確認、購入にまわす金額と一定年齢までに完済するための繰り上げ返済計画を作成
- 将来貸した場合の家賃収入と毎月返済額の收支チェック
- ローンの種類を調べ、シミュレーションを作成

②情報収集と条件の整理

- 狙う物件を絞り込む
- 希望物件に優先順位を付ける

③物件・不動産会社の検討

- 興味のある物件の資料を収集し比較検討
- 売り主、事業主である不動産会社の実績や考え方をチェック

④現地・モデルルーム見学

- 1日3件以内に絞り込んで現地見学
- 交通、生活施設の利便性や夜道の安全性をチェック
- モデルルームで設備や間取り、収納を確認

⑤購入物件の最終チェック

- 資金計画を再確認し、ローン事前審査を受ける
- 管理規約、長期修繕計画書、住宅性能評価書の確認
- 購入後のアフターサービスと定期点検の確認
- 重要事項説明書と契約書のコピーをもらってチェック

⑥購入申し込み、契約、ローン手続き

(女性のための快適住まいづくり研究会への取材による)



女性に人気のコンパクト分譲マンション「アービングウェスト大阪」(大阪市西淀川区)の室内(アービング提供)



身向けのコンパクトマンションが増加。関西の主流はファミリー向けの3LDKだが、5~6年前から建物の高さ制限がある京都でコンパクトな分譲マンションが増え始め、大阪市内にも単身女性向けの新築物件が出来始めている。もちろん中古マンションも選択肢の一つだ。シングルマザーで契約社員の女性(51)は、大阪・ミナミの築28年のマンション(830万円)を自己資金300万円で手に入れた。子供たちが独立し、今後の生き方を決めるきっかけにもなった。バルコニーから見える夕日で仕事の疲れが癒やされ、「ローンを返すために働く」と張り切っている。

昨年、大阪市天王寺区にある2LDKの中古マンション(築19年、2350万円)を35年ローンで購入した20代の女性会社員は「買ってよかったです」と笑顔で語る。ローン返済と管理費などは月6万円台だが、賃貸に出せば月約12万円の家賃収入が見込めるという。しかし、「自分の資産になる」と話した。